

平成23年度 第7回黒石市立小・中学校適正配置検討委員会会議録

招 集 日 時 平成23年4月20日（水）午後1時30分
開 催 場 所 黒石市市役所 3階 庁議室

次 第

1. 委員長あいさつ
2. 適正配置について

会議における主な意見 ※（○印は委員の意見、→は事務局の回答）

○ 本日は大変お忙しい中ご出席頂きまして誠にありがとうございます。先月の11日に大震災がおきまして、八戸に同業者の友達がおりまして、電話で聞いてみたら、波が1メートル20・30センチ来たらしくて機械とか車とか材料とか全て海水に浸ってしまい、残ったのは建物と借金だけだっというような話をしていました。近所では魚の加工業者が結構あるらしいんですけど、大小ある中で小さい所は廃業するところがほとんどではないかというような話もしてありました。ぜひ頑張ってもらいたいなと思っています。今日は第7回目の委員会という事で次第には適正配置についてということでありましたけれども、前回の適正規模についてという部分で、まだ完全に終わっておりませんでしたので、まずそちらのほうを検討していただいてから適正配置のほうに入らせて頂きたいというふうに思います。それでは第6回検討委員会要約という資料があるかと思います。前回、皆様方からたくさんのご意見を頂きました。実はまとめきれなかったんですけどもその場ではそれを幹事会のほうに持ち帰りまして、検討させていただきました。その上で再度委員の皆様にお話を申し上げお伺いしたいという形で進めてまいりたいと思いますので、私のほうからこの説明をさせていただきます。

まず適正規模については10年後を想定して考えていこうということで、10年後、子どもたちの生きる力を増すために、等のご意見があったと思います。つぎに、右のほうに移りますけれども子どもたちが人間関係にもまれて強くなる社会へ、小・中・高・社会へと人間関係は増えていき成長していくということだと思います。また、子どもたちのトラブル解決のため、部活動停滞をなくするためということをで、それらを踏まえた形で適正規模はということでは、小学校は一学年2学級から3学級、中学校は一学年3学級から4学級がベストではないかということで、ほぼ皆様方からのご意見もそうであったと思います。ただ、それを実行するためには児童、生徒の精神的、肉体的負担にならないようにしなければならないということで、その中では小学校は中間に新校舎を、通学バスの運営、中学校は将来2校にという意見がございました。次に地域の特徴や考えを尊重するというので、市民、地区の理解を得る、地域の対応、学校給食対策等の意見がありました。また、複式学級の解消ということで、少人数では社会性を育てるのが面倒だ、と複式は先生の負担が大きいという意見がございました。適正規模と下にあります負担、地域、複式という関係ですけれども、適正規模を実行するために下の3つがあるんですけども、また逆に、これらが解消されて初めて適正規模の人数もあるのではないかというような考え方も出来るかと思います。そういう形で前後の流れがありますので、事務局のほうに文章化していただきたいと思っていますけれども、幹事会のほうではこの様にまとめて、委員会のほうに図りたいというふうに考えて

います。

○ ご了承を得られれば規模はこういう形で、次は配置に入っていきたいと考えています。最終的には文章化になった時点で、再度最終審議という形になるかと思えます。現時点ではこういう考え方でいきたいと思っています。そうすれば本日の適正配置ということに移らせていただきます。まずは資料の説明を事務局からお願いいたします。

○ (資料に基づき説明)

○ 前回の幹事会のときに実は適正配置についての話し合いもしました。お一人おひとりからご意見をいただいたんですけども非常に具体的な話になってきますのでデリケートだという部分もありまして、まず適正配置のほうは幹事会のたたき台を示したほうが議論が進みやすいんじゃないかということで、まずそのことを少しお話しをさせていただきたいと思えます。小学校については、適正規模を守るといいますか、そういう形にするために中学校学区で合併を目指したいということです。そこで、先ほどの児童生徒の負担にならないことと地域の特徴を尊重するということを踏まえて、学校はその中間地点に、もしできれば新築をしていただきたい。ただし、土地、あるいは財政面のこともありますけども、当委員会としては中心に学校を建てていただきたい。あと当然大規模校とか小規模校があるわけですけども、お互いに平等な立場で統合をしていただきたいと、そういうことが幹事会の意見です。ということの一つのたたき台にしていただきながら、皆様方からご意見を頂きたいと思えます。

○ 今日のこの議題では何を話していいかわからないまま来て、ちょっと説明を聞いたんですけども、基本的には今委員長が話された10年後ということを考えればせざるを得ないんじゃないかと、そこで私が望んでいるのは前から何回も話してるんですけども大が小を吸収するようなことは絶対あってはいけない。やはり一緒になって新しい学校を作るんだという意識を地域の人も先生方も子どもたちもみんな最初からもてないと何かちょっと変なことになってしまうんじゃないかと、最初からみんな新しい学校の新しい伝統を造っていくんだという意識を強く持つことが大事で、そういう意味ではやっぱり一緒になった場合は必ず学校名も変える、そして校旗、それから校歌もきちっと新しいものを作ってみんなが新しい学校になったんだという意識を持てる環境をきちっと整えて欲しいと、それだけはお願いたいたと思ってました。あと校舎をどこにするかというようなことになるといろいろまた、出てくると思えますのでなんともいえませんが、今申し上げたことだけはぜひお願いしたいと思ってました。

○ 人数からいくとそうなるだろうと思えます。今言ったことも、必要ですし、あとだいぶ学校から遠くなるということもあるので、それをどううまくやるかということを充分考えてやるのであれば、良いと思えます。

○ そろそろ核論に入ってきたんだなっていう感じがしますが、○○委員がお話されたように財源的に許されるのであればやはり校舎は新しい所で、全て新しく歴史を造るっていうのがほんと一番良いのかもしれない。案外大人がこだわりすぎているのかもしれないし、子どもたち以上にこだわりすぎているのかも分かりませんが、財政的に許されるのであればやはりそういうスタートの切り方が一番良いのかなという感じはします。

○ 中間に新校舎というのはこんなにすばらしいアイデアは無いと思うのですが、〇〇委員の意見と同じでそこからスタートみたいな形で、それぞれの学校の思い出は思い出で持って自分たちでこれから伝統を作っていくみたいな形でスタート出来れば、大人も地域のほうもわだかまりなくスタートできるんじゃないかと思います。通学の時間とかを考えて中間地点に置くのがベストな方法じゃないかと思うんですけども。

○ 10年後の人数を見てみるとこの統合は仕方ないと思うんですが、ただ、通学の面で1、2年生の小さい子たちが通学するとなれば、新しい学校に行くとなった場合中郷中学校を例としてあの場所に行く感じになるとすれば、道中がすごく危ないわけですよ。自動車も多いし狭い道路も多いし歩道もろくにないような場所を通るわけですので、そこをバスとかそこから辺を考えていただきたいと思うんです。田舎館の例を見ると、集合場所に児童が集まってそこからバスに乗っていくという形になっているみたいです。そういうこともいいのかなと思うんですが、やはり小学校では、小さい子に有利なように考えていただきたいと考えてます。

○ 10年後の想定を見たとき前回も私は小学校は3校ぐらいか多くて4つと、中学校は勿論2つだけけれども、ただ、〇〇中学校は今に残ったとしてもあと10年、20年後に、耐震補強等が必要な場合は教室も体育館も新しく作らなければならないときにまた合併の問題が盛り上がるような気がします。ただ、私は〇〇学区で前から話がありますけれど、〇〇中学校付近にこの3校を統合した学校を新築したらどうかという話はもう5年前からもそういう話は出ていました。これはこの前の会議で私が言ったのと大体同じだというふうな考え方で。ただ合併の場合は地域住民の理解が得られなければ到底難しいわけですから、その辺をこれからどう解決していくかが大きな話題になるでしょう。

○ 正直言ってこういうふうなかんじになるのかなと、ある程度今までの話の中から想像はつきましたけれども、検討委員会のまとめの中に中学校は将来2校にというようなことも出ているということは、今〇〇委員からも話があったようにさらに今後2校になったことも想定しながら検討していくことになるのか、とりあえず10年後だけで区切りをつけて一つの案を出していくのか、そこらへんが一つのわれわれの課題なのかなというふうに感じました。

○ 資料を見ましたが、やはりこの黒石市としてはこういうふうなところなんだろうと感じています。財政的なことを抜きにすると確かに新しい校舎は必要だとは思いますが、今出たように将来的に2校と言った場合にほんとにそれは出来るのかという話です。非常にそういう点は厳しいんじゃないかと思いますし、また黒石は昔から1学校区1コミュニティというような非常に長い伝統があったように聞いています。それは大事なことだと思いますが、いつでしたかの議論の中に逆に今の若い世代の親もだいぶ考え方が変わってきているというような話も聞いていました。10年後ということを考えたときには、今のままでいくものではないだろうというような感じはしていますので、今ここでまとまるとすればこういう形での提案になるのかなとは思っています。

○ 〇〇小学校の、10年後を見たら43人とちょっと悲しくなりました。このままで行くと統合するのは仕方ないことかなと思っています。ただ統合する前にも〇〇小学校がどこに

吸収されるとかそういう形ではなくて、新しい学校形成をきちんとしてもらえるのであれば、地域の人たちもそんなに抵抗は無いと思っています。

○ この先を見ていったときにさっき説明していた小学校は中間に新校舎をとという意見はすごく良いと思いました。委員長が言われたように合併するような意識で、みんなでまた新しいものを造っていくというふうにすればとても良いと思いました。小学校低学年の子どもたちは精神的な面もですけれど、特に肉体的にストレスを感じないような方法にしていればいいなと思っています。

○ およそこうなるというか、やっぱり数字で見ると〇〇中学校のそういうのも事実で、公平公正の意味からなぜここにあるのかと考えたときに、地区の存在が、具体値にあるということをご理解いただけるような内容が盛り込まれないと数値だけ見たときにちょっと厳しいと考えます。それと、振り返って地区と学校の関係を見たときに、地区が例えば4つ一緒になって中学校での地区と言う形も模索する必要があるであろうし、当然中に織り込まれるべきというふうに思います。あと学校の位置はやっぱり中学校のそばが問題が少ないかという感じがして、どこを中心としたときに中心を決めるのにもめるようなことがないよう提言のときに一緒に付して出来るだけ中学校のそばにという表現が統合もやりやすいのかなと思います。皆さん気にされているように、吸収だ合併だってことは色々ありますけれども、その辺は提言の時にこの言葉はこの意味ですみたいな形の、新しいものを造るイメージがあるのかどうか、統合小学校という言い方はよくするように思いますけれども、それが適当なのかと言うのは少し言葉を選ぶ必要が強くあるのかと思います。合併なのか併合なのか一語取り替えても同じみたいなことになっても困るので、注意してもらわないといけないと思います。新しく造るということは自分のためでもなく、これからの10年後の子どもたちのために自分たちが代わってよい環境の中で新しい黒石を造ってあげようという、他人のためになんかしてあげようという気持ちを先に出さないで、私の大切な思い出を壊さないで言うことは皆さんもあってそれもまた大切なのも事実ですので大事にしたいというのはあるのですが、〇〇中学校の例えば20年後というそういうスタンスで見たときに、2校までこの中にもらなくて良いのかという案、2中学校の形にまで見る必要がないので10年後でひとつの選択をして、その体制がうまく出来るか出来ないかによって20年後に出来るか出来ないかというのを造るイメージが必要だなと思います。大切なもの、新しいものを造り上げるという形をぜひとも造ってもらいたいと思います。

○ 3月末にラジオを聴いていましたら、八戸の番屋小学校というところが無くなったということでした。児童数が3～4名だったかな、そこまで頑張ったんだそうです。割合スムーズに統合に向かったという話をラジオで聞いて、先ほど委員長も話してましたけども地域の理解をまず大事にしないとうまくいかないのではないかなと、ただ数値だけでいうのは一つよろしくないかと思います。みなさん言ってますが、子どもの負担にならないようにと地域のことと、この二つを大事にしていきたいなと。それからもう一つは小・中が同じ学区で一つの場合は9年間同じ顔ぶれで行くわけですね。小学校に6歳で入ってから15歳まで9年間同じということは、確かに学級変えがあったとしても果たして子どもたちが同じ人間関係で続いていくことが良いのだろうか、と非常に悩んでいます。やっぱり違う集団と一緒にいることが人間として成長していくことだろうと、それが9年間固定し小学校1年生からずっと、極端に言えば保育園幼稚園から一緒だともっとなるのだけれど小・中から9年間同じ

顔ぶれで果たして良いのだろうかと言うことから考えると、せめてこのペーパーでいくと〇〇中学校区と〇〇中学校区は小学校の2つぐらいあればいいのか、もし統合で新しい小学校が出来るとしても200人ちょっとの小学校が一緒になって400人、500人程度の中学校になれば人間として生徒たちが育っていけないのではないだろうか、そこからさらに高校に行くと小・中・高・社会へと人間関係が増えていくというところにも繋がっていくのではないかと思います。なかなか難しいとは思いますが、特に〇〇中学校区と〇〇中学校区は将来的にどうなるのか、将来2つの中学校になった時どう考えればいいのか、私も考えがまとまりませんが出来るだけ幼、小、中と違う集団が入ってきて大きな集団になっていければと考えています。

○ 将来2中学校ということで、事務局から提出のこの図で行くと丸が4校なんですけども、将来的には中学校学区としては2校になってしまうことで、幹事会でまとめた件ですが、いずれにしてもスクールバスは必要になると思うので、運営するに当たっては前回の適正配置のときにも出てましたけど、子どもたちの負担にならないようにということが最大の目的であり、運営する側のやりやすさとかそういうことではなくて、第一に子どもたちのことを考えた運営をしていただければというふうに思います。

○ いまこの10年後の構想ですけども、廃校になったりどっかに吸収されたりという感覚ではなく、新しい学校を造るという意識でやっていくということですが、そして10年後中学校が2つになったときに残った2つの中学校はなくなるわけです。そのときの理屈はどうもって行くのか、また新しい学校を造るという名目で行くのか、今度はなくなるという理屈を通すのかという問題がまた起きるような気がするんです。

○ ただ、10年後を見て、予想する形で動くと思うのだけれど、20年後まで予測する部分でぎりぎり人数は持つと想定できると思うのです。そこを加味した場合に、20年後に2校だと思われるけれどもそれに備えた形で10年後でそういうのを造ることはちょっと忍びない。数的にはそうであろうかとは思いますが、地区の人たちの気持ちとかを加味したときに、大きな一つの形としてそこに合わせた枠を10年後設定すること自体が見てきた場合に、2校というのも分かるけれどもぎりぎりもつ可能性もあるわけで、とりあえず10年後確実にこの人数に近い形になるであろうという予想はありますよね。

○ 恐らくどんな形になるにしてもこの会でまとめた理屈というのは将来ずっと残っていくと思うのです。今回われわれが通した理屈が将来また変わったときに持ち出されて、「あの時はこうしたのに何で今度はこうなんだ」というふうな材料にされると困るのかなという気はするんですけども、例えば校歌一つとっても新しい校歌を造るという方向で言ったときに、次やったときにそっこの校歌は消えて、この校歌だけ残るんだと、それを通せるかどうか。あのとき新しい校歌作ったのに何で今回作らないのだと。

○ そこまで作り上げる必要は今のところない。20年後想定するのであればこの人数自体を絶対出せない。

○ 20年後を想定するっていうんじゃなくてこれから色々学校が変わっていくときに、黒石市内というか黒石地区ではこういうようなことで学校を変えていくんだと。

○ だからいっぺんに枠組を変えるということなので、そのときにちゃんとした理念が無ければいけないし、それまでの歴史を大事にしてこころましようというようになってくるその枠組が10年後に向けたものであって、プラス10年後のときに同じ理屈で考える人たちがいるかどうか、だから新しい校歌が必要だって思う人たちに任せていいのかわかってそこまで斟酌する必要は無いかもしれない。

○ いま学校について10年後の話をしてましたけれども、もうちょっと大きい目で見ると10年後に黒石があるのかということも無いわけではないと思うのです。ですから、10年なら10年、どのスパンで見て取り組むかということで、あまり長いスパンではなくまずこの現実の中で子どもが少なくなっていくとちょっと教育上何かいい方法は無いかなという事で、こうして議論しているわけだと思うので、万が一合併の問題がわれわれに来ると今10、20年後のレベルの話じゃなくもっと違った議論に変わっていくので、現在黒石市が10年後あるっていう前提の下でいくのであれば、われわれの責任の下で提案していくということになるのですけれども、どっかで区切らないと前に進まないの、そういうことからいったら一杯ありますけれど、その中で選択するとしたら中学校についてはやはりこの2校ということです。

○ 中学校は2校でいくということでこれは良しとしても、私は長い目でいけば小学校も将来的には2校になると思っています。この合併問題はただ黒石だけの問題ではなくて、他の市町村でもみんなこういう問題を抱えているわけですから、今は3校か4校くらいですけど長い目で見れば小学校も私の考えでは2校くらいになる、今そういう時代がくるんです。細かいことにこだわってられない。

○ どのような世の中になっても人間ってのは自分の歩んできた中で、思いと言うか思い出というのがやっぱり大小あって、さっきの校歌の話に戻るけれど校歌一つ取っても昔あの校歌歌って今でもずっと歌っていると、それが急になくなると耳に聞こえなくなってさびしい想いを持つというのは誰でもあると思うんです。その想いをどうやって統廃合の中で組み込んでいくかということだと思います。

○ 浪岡の小学校では、今は新しくなって北と南に分かれてしまっているんですが、割り切れる部分もあると思います。時代の流れに沿って、仕方ないんだなっていう時もありました。でもやっぱり自分の学校の校歌は覚えています。

○ 確かに私も自分で入った小学校も中学校もなくなってしまって、さびしい思いはあるんですけど、新しいものを得るためには何かを失わなきゃいけないっていうのも覚悟しなければいけないのかな。学校というのはこれからの次代を担う子どもたちのために考えているわけですから、大人の我々は失うものは少しだし覚悟してかからないと前に進めないのではないかと思います。もう一つ、学校の校舎を移す場合ですが、確かに通学の中心はスクールバスなどになると思いますけど、やはり部活とかいろいろな都合で高学年になれば歩いて帰るとか、自転車で رفتり来たりすることもあると思うんです。今のままの道路の状況では、そういうことが可能かどうかということをチェックして、歩道をきちんと整備してあげる。現状で言うと歩道はあるのだけでも冬の雪が逆に歩道にもりあげて実際に機能してない所も

見受けられますので、そういうことをこれからないように、校舎を移した場合はそれに伴ういろんなことを備えておかなければいけないと思っています。

○ ちょっと今、4校と2校とで話をごっちゃになってる気がしてるんですけども、10年後にこの資料1で言う4校という考え方で行くのか、それとも例えば生徒が少なくなって2校と考えるかそこから行かないと、4と2で話をごっちゃになってるのではないかな。

○ お話聞いていてあれって思いながら、要するに私は、案ですから意見ですから10年後のある姿として小学校が黒中学区、中中学区、六中学区、東英中学区の4つですよ。中学校に関しては2つが統合してるってふうに私は思っていました。さらに10年後に統合するのではなくて10年後のときに統合してる。要するに10年後に中学校4つあることではなくて中学校は2つになってるということです。

○ そうすると小学生の数も〇〇中学校区の150人と〇〇中学校区の70人の220人がさらに、ここでいう〇〇中学校と〇〇中学校の人数と足すということですね。小学生の数が今のこの図でいけば〇〇中学区439人。それから〇〇中学区454人ですね。それから、〇〇中学校区が150人、〇〇中学校区が70人なのでおよそ1100人位いますね。すると小学校区が例えば黒石東中学校と黒石西中学校だとして中学校区が2つ出来たとして、すると大体1校あたり600人位の中学校区の小学生がいるわけですね。要するに、〇〇中学校と〇〇中学校に入れる小学生たちもそっちに振り分けされるということでしょう。であれば、黒石に2つの中学校区が出来るわけでしょ。2つだとすればなんという名前になるか分からないけど、黒石第1中学校、黒石第2中学校と例えたとして、中学校区の小学生がこの人数で出してけば1100人超えるわけですね、そうすると各中学校区で考えれば5、600人ずつ入ることになりますね。

○ 小学生はそうなりますね。中学生そのものは400人かそれくらいしかいませんけど。

○ 中学生は今2校と考えればいいんだけど小学生の場合が1100人超えるから全部足すと、550から600規模の小学校、小学生の数になるんですね、単純にその前の適正からすると小学生が2学級から3学級なので、そうすると2つの小学校ってなりますよね。

○ たぶん私の最初の説明がまずかったのだと思いますのでもう一度。要するに中学校学区に小学校が合併をいたします、と中学校は2校です。という考え方です。

○ 中学校は2校だけでも小学校は、4中学校学区のままなんですか。

○ 小学校の話でなくとりあえず中学校の話をしているわけですから2つです。この〇〇小学校、〇〇小学校、〇〇小学校は6年生を過ぎるとどちらかの中学校に入っていくことになるということですよ。

○ この図は10年後の中学校の数が4つあるということを意味してるわけではないわけだ。私勘違いしてました。将来2校にとあるから、10年後の先の将来に2校になると私読んだんですが。

○ 私は4校だと思ってました、ずっと。プラス10年だからって20年後にはそうなるでしょっていうお話と私は聞いてたので。

○ やっぱりこれは聞く人の解釈がちょっと違ってきたのかなという、潜在的に2校というものがあつたからそういうふう解釈したかもしれないし、潜在的にこれを見て4校だと思った人は4校というとらえ方したと思うんです。

○ つまりこの図の中には中学校の名前を消して小学校は楕円の4つに新しい小学校として考えて行きますということなんですね。

○ あくまでも10年後と考えた場合は私も4校だと思ってました。

○ そうなると10年後も現状と変わらないって事じゃないですか。

○ 10年後はそのままということですよ。20年後にそうすると中学校統合ということになるんですけども。

○ それだと今まで6回やってきたものがなんなのかっていうことになる。

○ 私としては先ほどいいましたように10年後以降に2校というように思っていました。20年後を2校のほうがよいということであれば、またお話をさせていただければ結構だと思います。

○ 表題で1中学校区、1小学校区とあるから小学校も4校、○○中学校のとは4つの小学校が1つにまとまるのかなと読んだんです。

○ 一挙に10年先のことを話さないで八戸の方で答申したように、短期は3年、中期は6年、長期は10年とそういう形で進行したようですが、そういうふうなもの考え方が必要という気もしますが、例えば○○小学校はもう10年後もこうかなあとその前に合併とか話題になる気もしています。中期とか長期とか分けて話をしたほうが、どうなんでしょうね。

○ 私は話の中で2校という話が出たのと、あと幹事会の一つの案として話をさせていただいたんですが、あれは実は適正規模の検討委員会の中で既に出てる意見なんです。中学校を将来2校にとか、小学校学区の合併については出てたんです。その話から一つのたたき台として出してます。

○ せっかく幹事会があるのだから幹事会で統一されるように出してくていただきたい。

○ 前回と同じでまた、幹事会に持ち帰ってそこでまた一つの形にまとめるといいですか、皆様のご意見を充分踏まえた形で示していければと思っていました。

○ 前にも2校という形で議論をしてきたはずだと思います。ですからある程度2校というものをどう考えるかということで皆さんの意見を聞いたほうが、次やるときに資料を作りやすいと思います。2校について各委員の方から聞いたほうがいいと思います。

○ 今、〇〇委員からお話がありましたけれど、10年後の中学校2校ということについて、集中的にご意見をいただければと思います。

○ やるなら新しく学校を造るのが望ましいとか色々意見ありますけども、今話し聞き直してみれば段階的にやるとすればそういうことは無理で、これを一度にやってしまうのなら可能性ありますけども。

○ たぶん現実の問題としては10年後を想定して計画は進めてますけれども、現実問題としては10年経ったときにスタートするのではなくて、早くスタートできるところは早く実施することになるでしょうし、10年で出来ないところは10年過ぎるということになると思うんです。

○ 小学校も中学校もみんな校舎を新しくして、10年でやろうとするとごちゃごちゃしてとても出来ないと思うのです。地区がついていけない。理想論を述べるのはいいけれど、現実問題として考えてみれば10年後にこの姿を描いたとき、それこそ3年、6年、10年後はこうだと思ったときに、校舎を建てるのに何年かかって、地域の場所選定するのにどうしたこうしたって考えたときに、10年で小学校が1つずつできてるか位にしか想像できない。それを中学校2校にすると、中学校も新しく建てる10年のスパンの中で設定するのは簡単。でも現実路線としてはありえないし、10年後を想定すべきなのではないかと私は思うんです。ですから基本的に今と変わらないと言ったけど、4中学校区で1中学校実際1小学校という形で対応していくことでいいのではないかと、そっちのほうが皆さんの気持ちもよりいっそう良いだろうし、ついてきてくれるというか、力を合わせやすい環境が出来ると思うんです。それに対して中学校2校にしますとした時に、中学校の名前とか最初に決めて、第1第2でも東西でもいいと決めてから始めるような形にして、ほとんど頭ごなしな形でないと、ものができなくありませんかというふうに思います。ですから4校という今あるもののひとつを守って、地区という形が融合する時間を取りながら10年後に小学校が各中学校のうちに一つずつだから4つできる形のほうが可能性が高いだろうし、皆さんの気持ちの融和も出来るだろうという時間が重要だになっていうふうに思いますけど。

○ 4校ということは今現在4つだと思っただけですけども、それなら新しく場所を真ん中に立てるという必要はないわけです。

○ 中学校の場合は校名の現状維持が妥当だけれども、10年先には2校というここ10年くらい準備期間を設けて、10年先と謳ったほうがよいのではないかという気がしているのですがどんなものでしょう。校名は現状維持が妥当だ。しかしながら10年後には2校になります、2校が妥当だと思う。

○ 要するに〇〇委員が言ってるのはまず中学校よりも小学校を統合して小学校のほうを先についていうことですね。

○ そうそう、だから1地区1小学校なんです。地区の問題もやっぱり抜きに出来ないので、地区がうまくいけば中学校もうまく行くだろうという感じで、両方一緒に提案しちゃおうとやっぱり本当にうまくいかない。うまく言い回しをすると出来るだろうけど、現実はこちらをやるに10年で出来るけれど、その10年になったときには2校の形はいいねえみたいなことがありうるのかなと思います。

○ そこで気がついたんだけど、このときから中学校を2校にするっていうことを適正配置の中で考えていくのと、中学校は4校のままで小学校だけを先に各地区に1校っていう形でいくっていうのと、目的がぜんぜん違ってくるんでもう一回最初からそのスタートが、ボタンの掛け違えできたのかなっていうことなのではないでしょうか。

○ そもそも我々の議論の中には将来の、10年後の小学校、中学校の像を考え、ここにあまりにもウエートを置き過ぎてその経過を見逃してしまっている。この結果に持つてくためにはこういうふうになんか少しずつ変化していかなくちゃいけない。一気にボンッと明日からこうやりますというわけにはいかないで、そのスパンをきちっと見てその変化を我々が検討していかないとうまく落ち着かないと思います。

○ 今までは小学校は小学校で中学校は中学校の話をしていますが、小・中一貫教育というのも一つの考え方だと思うけどもどうなのでしょう。

○ 小学校が一つになって中学校にいくのであれば一貫教育と同じですね。校舎が違うだけで同じ人たちが上へ行くわけですからそれはたぶん一貫教育と同じ、我々もちょっとずれたまんまでボタンの掛け違えのまま、今日に至ってるのかなって感じします。私も、中学校が2校だという潜在意識がちょっと脳から離れなくて、結果がそっちのほうに行くにはこういうもって行き方、こういう方向でというような言い方をしていましたけれども、言われてみると小学校の立場を考えていくと違ってくる。

○ 現実はどうでしょう、小学校をよく「おらほの地区のおらほの学校」というけれど、中学校は小学校ほど地区ということに対して気を使いすぎる必要は無いんじゃないかという感じはします。

○ 10年後といっても今答申が出たとして、それから地区に説明して合意を得るまでにはまだ1年では恐らく無理だろうし、2年かかるのではないかと考えています。よその地区では、順調にいったところは1年位で終わっているかもわからないけれど、なかなかそういかない場合は例えば2年もかかるとする。さて、用地を決めるにすぐ決まるわけがない。決まって整地して建ててまた2年ぐらいかかる。一気に小学校も中学校もみんなそうやってもっていきと行ったときに、一気に皆やっていくのは時間的にも財政的にも全く無理なんではないか。

○ 例えば、中間に学校造ると現実的に想定されることは、私の頭の中なんですけどまだ用地の支度も出来ない。でも、入れる学校があるとすれば、とりあえず合併の仕方としては考えられる。1番最初にお話したのはあまりにも理想的過ぎるのかも分かりませんが、現

実に中間地点に建てていただきたいし出来るかどうかもちよっとわかりませんね。

○ いつ頃を目処にやっていくのか、いつ頃は始めるのか。

○ その話もしていかなければならないと思うのですが、当初全員で将来を話し合いするときの姿というのを10年後というふうに統一して話し合いをしましょうということで、実際的にはその10年なんです。その辺の話はまたこれから煮詰めていかなきゃいけない話だと思います。

○ やる前から決めておかないとなかなかいろんなものが決まらない。でもさっきいったように段階的にやるのであればうまくいかないし、4つ一緒にやっちゃうのであれば可能だろうし、そういう面も出てくるんだと思います。

○ とりあえず前回の話の中では、将来的には中学校が2つが妥当だろうということはもう皆さん了解していると思うので、今日出たこの図を基に、例えば〇〇中学校区では4つの小学校があるのですが、これを中学校2つにするまでの途中段階として、小学校2校ずつまず統合して、最終的には1つにまとめるでもいいのだけれども、そういうふうな形でこの4つの楕円を基に、どういうふうに2つの中学校に収束させていくかという流れを次の幹事会で再度検討してもらえれば話しやすくなる。

○ 今学校が耐震で予算をつけているのは小学校も中学校もでしょう。耐震性は今現在の法律の基準に合うか合わないかということをやっているのですか。

→ そうです。

○ 要改築は新しく建て直さなきゃいけないということなんでしょう。黒石も中郷も体育館は建て直さなきゃいけないでしょう。

→ 体育館は改築し、校舎は補強です。

○ それもまた考えようによっては無駄なこと。

○ 私も地区の代表として来てるんだけど、地区のほうでも学校の統廃合について検討してみる用意があると自分ではそう思ってる。総会でもしゃべっているんだけど地域サミットと称してこの統廃合の問題を検討したい。規模としては個人的だけれども30名程度にして各団体から2名とか年代別とか。我々がここにおいて統廃合の問題を検討するけれども地域でも話題になってもおかしくない、そう考えてるんだけどどういふものでしょう。

○ 地域で取り上げていただくというのは、本当に嬉しい限りだと思います。

○ 各地域がばらばらにやるよりは、ある程度ここで決まったものをベースにしながら議論していただければいいけど、地域が独自の中で議論することになっていくと、後々いろんな問題が発生する感じがします。せつかくこういう組織があるわけですから我々ももうち

よっとスピードアップして、一応検討委員会としてはこういう意見だけど、これについて地域ではどう考えるかというような感じで、ダメであれば委員長らが出向いて説明に行くとか、まあそういう形で地域と話し合いながら理解を得てゴールに向かうということをしていかなないと、われわれと想像のつかないような意見が出て、それが地域で文書化されてしまうという形を取ると、もっと大変なことになる感じはします。

○ 10年後に中学校を2つにするということではないんですね。それとも10年ちょっとでやってみて十分に話して、10年後に2つにしてもいいのではないかと話し合いに行く事なのか、10年後に2校にしてしまうことなんでしょうか。私はちょっとそのへんがわかんなくなってしまうて。

○ 一番最初に話を進めていく上で、たたき台としての案としてお話していただいたのは、中学校学区で小学校を統合すると、中学校は2校にするという話をしました。

○ それは10年後なんですか。

○ 10年後を想定です。

○ 例えば10年後に黒石第1中学校と第2中学校が出来るということを考えて今話しているのか、それとも10年かけてだんだん今4つあるのを2つにすればどうだろうという話をしているのか。

○ 例えば〇〇小学校は3年、5年後に、そんなに人数は変わらないんですね。でも、地域の人たちがこのままだといけないから違うところと統合していくべきとか、徐々にいくのかと思ったんです。だから、10年たった時に黒石第1中学校と第2中学校を、そこでスタートさせるということが私の頭に半分あって半分ないんです。だからよくわかんなくなってしまうました。

○ この検討委員会は決定機関ではなく答申する機関だから、例えば教育長さんに今話ししたように10年後には2校とするということを答申することぐらいをやらねばなにも意味がない。決定機関は市だから、小学校は勿論答申するものなにも無いならこの会議は何も意味がない。当面は妥当だけれども10年ぐらいには2校とする、これを答申しなきゃ会議の意味もなくなる。

○ 確かにそうだと思います。10年後というのは適正規模の中での10年というのが出来ていますので、それをそのまま配置まで行けばいいのですが、配置になると先ほどもお話にでたように、例えば短期・中期・長期みたいな発想も出てくる余地は当然あると思います。急に一緒にすぐ出来るわけがないとされると、まさにその通りな訳でして、そういう考え方もあるけども、視点としては一番最初の10年というのは私は10年後の姿はやっぱり中学校は2校なのかなというのはあったのですね。

○ 要するに少子化というのは小学生から始まっているわけです。1年生からだんだん中学生というふうに時間差があるわけです。それを一緒にの枠の中でポンととらえないで例えば小学

校1年生の数がわかったときに、6年先の数がおおよそ想像出来る訳です。そのスパンをこの中にとってほしいと思うので、そういう考え方をしてくれば私は小学校を4ついじるだけでいいし、せめて責任を持った仕事をするべきであって、決定したことに対しては実現の可能性があって子どもたちの環境がよくなるように責任を持って可能性のあるものを答申すべきというのが筋なのではないかと思います。

○ 10年後という発想で来てましたけども、それでは中学校は10年後でなくてもっと先を見ましようということですね。そこに間をおいて、例えば小学校は10年後を見ましよう、中学校は15年先を見ましよう。

○ 今までの会議では適正規模として小学校は学年で2～3学級、中学校は3～4学級ということに進んでいたわけですね。ここに載ってますし。前回だと思いますが黒石らしい答申をしようとも話してましたね、ですから中学校を検討する前にやっぱり小学校をやるべきだと思っんです。小学校の位置を照らし合わせてやった場合にどうするのか、そうした上で中学校もこうなりますみたいな結論が出ると思うのです。私の判断として中学校のことなのか小学校のことなのかわかんなくなってしまう。

○ 中学校は結論を出しやすいので話題になってるが、小学校は学年や地区と数が多いので難しい。

○ 小学校のまとめ方が一番大事だと思います。

○ 小学校のほうが多いので、小学校が煮詰まればおのずと中学校は決まってくるのでは。

○ 次に注目するのは中学校ということです。中学校を10年で平行してやっていけるのではという考え方もありますし、10年やって終わってからでなければならぬという考え方もあるし、それほどかかるわけないので、2・3年、4・5年の話でしょうという考え方もあれば、そんなものでない、もっと考えたほうが良いのでないかということのような気がします。そういうところで話として決まらないと違う話になるような気がしますので、そういうところでぜひご意見をいただければと思います。

○ 次回でもよろしいのではないか。

○ そうすれば、幹事会のほうでまとめさせていただいて、小学校に関してはまたこういう形で意見のとりまとめをしていただきたいと思います。中学校についても今回色々できましたので、それもまた次回そのことについて話ができるような資料の準備をさせていただきます。今日の第7回委員会はこれで、終わらせていただきます。